

VI. 安全施策

1. 安全施策 2009・安全重点施策の実施結果 [平成 21 (2009) 年度]

安全施策 2009 で定めた安全重点施策は、下記の通りであり、それぞれ確実に取組みました。

①安全管理規程に基づく安全マネジメントシステム（PDCA）の確実な運用と定着

- ・「安全方針」の確認（安全最優先の意識の定着）
- ・安全マネジメントシステム（PDCA）の内容・手法の周知
- ・社員の各職場・立場における役割と責任に応じた必要知識・技術の習得、維持、向上

②安全確保を第一とする企業風土の醸成

- ・各種運動及び点検の定期的な実施による社員への安全意識の浸透
- ・社長、安全統括管理者及び各管理者（各部長）の巡視、講話、念達等の実施による安全意識の更なる向上



【非常呼集訓練時訓示（社長）】



【三宮駅改良工事視察（社長）】

③コンプライアンスの徹底

- ・法令、規程、規則類やマニュアルなどの厳正な遵守の徹底

上記①～③の施策に対しては、年 5 回ある次の運動期間中を中心に、年間教育訓練計画を策定し、各教育を確実に実施しました。

- | | |
|---------------------|--------|
| ・春の全国交通安全運動 | 4月 |
| ・運転保安に関する特別総点検 | 6月 |
| ・鉄道・軌道及び索道の安全運転推進運動 | 7月 |
| ・秋の全国交通安全運動 | 9月 |
| ・年末年始の輸送等に関する安全総点検 | 12月～1月 |

④事故の芽・ヒヤリハットに関する報告、分析、フィードバック及び情報共有のシステムの確実な運用

- ・事故の芽・ヒヤリハット等のリスク情報を確実に報告するよう心掛けました。
- ・報告された事故の芽・ヒヤリハット事象の原因と対応策を検討し、それらを現場へフィードバックさせるシステムを継続して運用しました。
- ・このシステムが確実に機能するよう、日常から社員同士の積極的なコミュニケーションを心掛けました。
- ・このシステムにおける「分析」から「フィードバック」に至る各段階（会議体等）での議論の経過についても情報共有し、より有効な対策となるように努めました。
- ・ヒヤリハットについて、各部・各職場が取組み易くなる手法を絶えず検討し、このシステムの積極的な改善に努めました。

⑤阪神なんば線における安全輸送の確立

- ・新線区間運転・近鉄車両運転に関わる教育訓練、車両連結解放訓練、地下駅防災[火災・水防]に関わる教育訓練、駅諸施設の適切な運用に関わる教育訓練等を実施しました。
- ・緊張感のある運行・業務の遂行を日常より絶えず意識し、添乗や巡視による重点指導等により、基本動作の励行・作業手順の遵守に努め、「慣れ」による油断の排除に努めました。
- ・実業務を通じて改善点・問題点の洗出しを行い、必要に応じて規程類や訓練方法の見直しを行いました。

⑥情報の伝達・共有及び記録の作成・管理

（鉄道部長会議）

- ・事故、インシデント、事故の芽及びヒヤリハットの報告を関係管理者から受け、情報を共有しました。
- ・事故、インシデント、事故の芽及びヒヤリハットに関してその原因を分析し、その結果を踏まえて再発防止策を講じ、鉄道課長会議、技術・運輸連絡小委員会や関係部署に指示を行いました。

（各種の会議体）

- ・都市交通事業本部の各部内、各部間等で実施している各種定例会議において、鉄道部長会議で報告した事故等の情報を共有しました。

（記録の作成・管理）

- ・各会議体事務局は、会議の記録及びその管理を確実に実施しました。

2. 内部監査の実施

- ・「鉄道輸送の安全確保に関する内部監査実施要領」に基づき、都市交通事業本部の各部は監査計画等を策定し、確実に実施しました。
- ・各部内の監査員間で内部監査方法に関する情報を共有できるようにし、内部監査の精度向上に努めました。
- ・各施策に対する有効性に着目した内部監査の実施と内部監査自体の有効性について確認しました。
- ・継続的に内部監査員の養成教育を実施しました。

【内部監査の有効性確認の事例】

「内部監査の有効性確認チェックシート」を作成し、監査員の意識を確認しました。監査員の評価から「有効性が確保されているレベル」にあることを確認しました。

【内部監査の有効性確認チェック】

○100点満点（合格点 80点）

有効性区分	評価
90点以上	有効性が十分発揮されているレベル
80点以上～90点未満	有効性が確保されているレベル
80点未満	改善を必要とするレベル

設問項目	運輸部			電気部				信号部			工務部			不達点 合計
	A	B	C	A	B	C	D	A	A	B	C			
問1 内部監査を毎年1回以上定期的に実施しているか													/11	
問2 内部監査員は外部の研修機関の修了者であるか													/11	
問3 内部監査員はシステム文書に精通しているか													/11	
問4 内部監査員は目的・目標の内容を理解しているか													/11	
問5 内部監査員は法的要求事項を理解しているか													/11	

【内部監査の有効性確認チェックシート様式】